



日本共産党・前県会議員

2022年4月15日

## 加藤なを子活動レポート



### 県政へのかけ橋

<連絡先>藤沢市藤沢2-3-2

発行：日本共産党・加藤なを子事務所

TEL0466-25-4776 FAX 25-4761



## 消えている横断歩道

新学期、通学路の安全を

大庭中学校の正門近くの横断歩道です。この通りは直線で坂のため、車がスピードをあげて通り、危険です。藤沢市内で消えている横断歩道や停止線。「危ないので早く塗り替えてほしい。」と、地域の方々から強い要望が寄せられます。県警察に要望を伝えましたが、「県内を順番に塗り替えている。4台の車でまわり、点検している。」「塗り替えの予定は、いつとは言えない。」そんな曖昧な言い方でした。

私が県会議員になり、最初の決算委員会で質問した内容は「交通安全施設整備費」。信号機の設置と横断歩道等の塗り替えでした。「周辺が薄くなったら、まとめて塗り替える。予算が少ないためすぐにはできない。これではまだ白線が残っているほうだ。」の説明には呆れました。塗り替えがその都度できる仕組み、予算を別にする、各自治体に事業を任せられないかの提案などもしましたが、これは警察の仕事、と受け入れられませんでした。県に対して予算の大幅な増額を求め、交通事故から県民の命を守るよう早急に対策を求めます。

### なを子の花だより

### しだれ桜

長後のHさんお庭のしだれ桜が見事です。以前、伺った時に「桜が咲くころ見に来て」と、お誘いいただきました。はらはらと小さな花びらが舞う中を花見。30年ほど前に苗木を植え、最初の10年間は花が咲かなかったそうです。今は大きく枝をはり、立派で、見ごたえがあります。しだれ桜をバックに宣伝カーで政策を訴えたいと思います。



県会議員がどのような態度をとっているのでしょうか

私たちには知る権利がある

県議会

県議会の常任委員会で審議された「県の2030年の温室効果ガス削減目標を62%以上に引き上げることを求める陳情」（茅ヶ崎市民から）と「湘南海岸防砂林へのネオニコチノイド農薬散布の中止を求める陳情」（藤沢市民から）の陳情は、共産党県議団の委員は了承にしました。今の県議会は継続審査や不了承の態度をとる会派が多いのが現状です。

砂防林に散布された農薬により、健康被害を受けた方がいます。自転車で砂防林の横を通り、その後、目が充血し、嘔吐が数日続いたそうです。ところが県は安全な農薬だと説明しているそうです。陳情や請願については、最終的な結果だけでなく会派ごとの賛成・反対の態度が県民に知らされるようにするべきです。一緒に声をあげましょう！



海水温が上がると??

ふくしまっ子リフレッシュin湘南 江の島観察会

以前は福島に住む子どもたちの保養を目的としていましたが、今年は藤沢に住む福島の子どもたちを募集しての開催を予定しました。残念ながら福島のご家族の参加はありませんでしたが、環境活動家の武本匡弘さんの環境に関する解説と、岩場での生物観察会がありました。

相模湾は、干潟やリアス式海岸、砂浜、大陸棚などが条件となり、5千種類の海洋生物が生息する豊かな海。さらに水深も200m以上あるそうです。江の島にモースが海洋研究所をつくり、海洋学発祥の地だと説明がありました。

さっそく、岩場で観察会。海藻やマツバ貝、カラス貝の卵、イソギンチャク。岩場の白い粉のような物はケイソウという生き物だと知りました。岩場の影を網で救うとヒトスジエビやヤドカリを見ることができました。海水温が上がると、磯の生物や海藻にも大きく影響があるそうです。気候危機の打開へ、私もがんばります。



交流会で子どもたちがいだいたパンダの折り紙カードと素敵なお花の折り紙